

Two Years Unitary Patent System – Time for a first review

欧州単一特許制度 施行2年 ～実務からみた最初の振り返り



2025年8月21日 木
16:00～17:30（日本時間JST）

【受講料】 無料

【言語】 英語（概要通訳あり）
（英→日の概要通訳がございます。
日本語でご質問いただけます。）

講師

Prof. Dr. Aloys Hüttermann（1972年生まれ）は、デュッセルドルフのMichalski・Hüttermann & Partnerの創設パートナーで、ドイツおよび欧州の特許弁護士の資格を保有している。欧州単一特許制度に関する書籍の著者/共編者であり、有機化学の学術書 および知的財産分野の法学論文の共著者として活躍。専門分野は、知的財産権のすべての分野（出願・訴訟、デューデリジェンス、M&A、FTO、ライセンス契約など）を含む。2021年に、ニーダーライン高等専門学校の名誉教授に任命され、2014年から同校で講師を務めている。

●概要：

On 1 June 2025, the Unitary Patent system will turn two years. This presentation will give a review about the Unitary Patent and the Unified Patent Court and investigate whether the introduction of the Unitary Patent System can be considered a success. Following that, the current line of jurisdiction of the Unified Patent Court will be investigated more closely and the most important trends that the UPC follows will be presented, both in procedural as well as in material law.

2025年6月1日 付で、欧州単一特許制度発足から2周年を迎えます。本講義では、欧州単一効特許および統一特許裁判所（UPC）の現状を振り返り、制度導入が成功とみなせるかどうかを考察します。続いて、UPCにおける近時の裁判判断の方向性を詳しく分析し、手続法および実体法の両面から、同裁判所が示す主要な傾向についてご紹介します。

●アジェンダ（予定）：

1. Statistical trends of the Unitary Patent System / 統一特許制度の最新データ動向
Case numbers of the Unitary Patent / 単一効特許の出願件数
“opt-outs” / 「オプトアウト」
Case load of the Unified Patent Court / UPCの案件数
Distribution of the cases amongst the divisions and languages / 部局別・使用言語別にみた内訳
2. Current trends in the jurisdiction of the UPC: Procedural law / UPCにおける最新動向：手続法
3. Current trends in the jurisdiction of the UPC: Material law / UPCにおける最新動向：実体法
4. Q&A

ZoomミーティングID・パスワード等は、開催前日までにメールでご案内いたします。
アーカイブ配信は、講義の翌営業日から2週間となります。